

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現（防災・安全）第2期													
計画の期間	令和04年度～令和06年度（3年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	福岡市													
計画の目標	九州・西日本の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化に大きく貢献する拠点港湾「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港を目指し、港湾機能の強化に取り組んでいく。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		690	A	690	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3年度末	R5年度末	R6年度末
1	博多港の防災機能の確保、利用者の利便性・安全性の向上のため、改良が必要な施設の改良達成率を0%から100%に拡大する。 改良が必要な施設の改良達成率 [% ]	0%	25%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 箱A-8号線 道 路改良	L=1,018m	博多港・箱崎ふ 頭地区						430	策定済	
	A02-002	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 箱A-8号線 道 路改良 その2	L=440m	博多港・箱崎ふ 頭地区						12	策定済	
	A02-003	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	中央ふ頭・博多ふ頭 道 路改良	L=195m	博多港・中央ふ 頭～博多ふ頭地 区						97	策定済	
	A02-004	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	須崎ふ頭 道路改良	L=438m	博多港・須崎ふ 頭地区						15	策定済	
	A02-005	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	中央ふ頭 岸壁(-7.5m )改良	L=130m	博多港・中央ふ 頭地区						70	策定済	
	A02-006	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	臨港道路 照明灯改良	照明灯改良 N=232	博多港・アイラ ンドシティ地区 外						66	策定済	



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 福岡市公共事業再評価等監視委員会による審議	事後評価の実施時期 令和7年12月
	公表の方法 福岡市ホームページにおいて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	港湾施設の改良を実施することにより、港湾機能の確保が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
博多港は、これまでも市民生活や経済活動を支える基盤として重要な役割を果たしており、活力と存在感に満ちた日本の対アジア拠点港を目指し、「防災・安全」の面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。	

